

第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

大牟田市立中友小学校

教諭 堤 智紀

1. 単元名 「長崎から学ぶ」

2. 単元の目標

- ・平和への願いをつなぐという課題をもって、長崎で起きた出来事や戦争の歴史の調べ学習において、長崎での原爆の被害や私たちが暮らしている大牟田での空襲の被害などを知り、自分たちにできることを考えることができる。 [知識・技能に関わる目標]
- ・戦争が日本だけではなく世界中で行われていたことや、現在も戦争をしている国があること、戦争の恐ろしさや悲惨さを自分ごととして捉え、戦争を二度と繰り返してはいけないという気持ちを理由をもとに分かりやすく伝えることができる。 [思考力・判断力・表現力に関わる目標]
- ・戦争や平和ということに関心を持ち、意欲的にインターネットで戦争のことについてグループで協力して調べることや、修学旅行の長崎平和公園での平和集会を平和への祈りを込めて行うことができる。 [主体的に学びに向かう態度に関わる目標]

3. 単元について

(1) 教材観

本単元に関しては、これまでに平和学習での読み聞かせや、普段の生活の中を通して、日本で戦争が起きていたことや長崎・広島に原爆が落とされたという事実があることを知ることができている。また、社会科「戦争と人々の暮らし」の学習を通して、広島・長崎に原爆が落とされるまでにあった出来事や、戦争中の子供たちの生活など、戦争でたくさんの人が犠牲になったということは学習する。そこで、本単元では、これらの上に立って長崎での原爆や大牟田での空襲、世界での戦争に目を向け、調べ学習を通して戦争の被害や悲惨さ、世界での子ども達の状況について知り、さらに平和の願いを届けるような取り組みについても知り、平和への願いと戦争を繰り返してはいけないということに気づかせる。そして、平和への願いと祈りを自分たちのまわりの人達にも伝え、恒久平和を受け継ぐことができるようにする。

(2) 児童・生徒観

本学級の児童達は、5年生の時に総合的な学習の時間「みんながつながるよりよい学校・地域づくりを目指して～子供民生委員活動～」を通して、よりよい社会を作っていくためには地域の方など様々な人と協力・協働していくことが大切であるということを経験してきている。また、これまで毎年行われている平和学習を通して、戦争が日本であったことや、長崎・広島に原爆が落とされていることは知っている。さらに、6年生の社会科の学習を通して、人々が争いや戦いをいつの時代もしてきていたということや、時代によって考え方や流行などの考え方や感じ方の違いがあることを学習してきている。そこで、自分たちで計画を立て、実行することができるようになるこの時期に本単元を取り上げる。そして、平和学習を通して、戦争が起きていたという事実を自分事として捉え、今の自分たちにできることを考える。戦争の悲惨さと平和への願いを知り、日本だけではなく世界中で今も苦しんでいる人がいるというグローバルに視野を持つことができるようにする。このことは、持続可能な社会づくりにおいて自分の考えをもち行動することができる児童を育成する上からも意義深い。

(3) 指導観

本単元の指導にあたってはこれまでの平和学習や社会科の「戦争と私たちの暮らし」から、日本が戦争をしていた事実や、戦争中や戦後の生活に苦しんでいたということに気づかせ、平和を受け継いでいくためには自分たちにはどのようなことができるのかを考え、進んで行動することができるようにする。

そこでまず、戦争が起きていたという事実や自分たちが住んでいる地域が、空襲によって焼けてしまったということを知り、戦争が身近でも起きていたという事実を感じとることができるようにする。次に、自分たちでインターネットを使用して、長崎・大牟田・世界の戦争のことや、それぞれの平和への取り組みについて調べ、平和の願いを届ける人々がたくさんいることに気づかせる。ここで、社会科「戦争と人々の暮らし」と関連させ、日本で戦争が起きた原因や戦争中の子供たち

の生活についても学習するようにする。さらに、戦争が悲惨で恐ろしいものだということから戦争は二度と繰り返してはいけないということを学習し、平和に生活していくために自分たちにできることを考える。最後に、自分たちが調べた戦争の悲惨さや恐ろしさ、自分たちにできことをまとめる。

4. 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
平和への願いをつなぐという課題をもって、長崎での原爆の被害や大牟田での空襲を知り、自分達にできることを考える。	戦争の悲惨さを自分ごととして捉え、戦争を繰り返してはいけないという気持ちを理由をもとに伝えることができる。	戦争や平和のことに関心を持ち、意欲的にインターネットで調べたり、平和への願いを届けたりすることができる。

5. ESDとの関連

(1) 本学習で働かせるESDの視点(見方・考え方)

公平性・・・平和の実現のために努力している人の生き方を通して、平和とはお互いのことを理解し、助け合うことでみんなの幸せを実現することだと気づくことができる。

責任制・・・自分一人一人の行動が平和な社会の実現に繋がることを理解して私たちにできることに取り組むことができる。

(2) 本学習を通して育てたいESDの資質・能力

批判的に考える力(クリティカル・シンキング)

平和を実現している人たちの話を基に、自分でできることを見つけ出す。

コミュニケーションを行う力

現地において経験をした人から話を聞いたり、友達やまわりの人達に発信したりすることができる。

つながりを尊重する態度

社会の一員として自分たちに世界をつくる責任があることに気付き、活動に取り組もうとすることができる。

(3) 本学習で変容を促すESDの価値観

世代間の公正

戦争を経験した人から、経験をしていない人に語り継ぐことで、戦争の悲惨さ、恐ろしさを知り、戦争を二度と繰り返してはいけないということを受け継ぐ。

(4) 達成が期待されるSDGs

16 平和と公正を全ての人に

6. 展開の概要(全16時間)

配時	学習活動・内容	●学習への支援	○評価・備考

3	<p>戦争について知ろう</p> <p>(1) 戦争について知っていることや、自分が考える平和とは一体何かを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎と広島に原爆が落とされたな。 ・みんなが幸せに暮らしていける世の中が平和といえるな。 ・日本は昔戦争をしていたな。 <p>(2) 現在も戦争をしている国があることや、日本が第二次世界大戦後に戦争をしていない数少ない国であることを知る。</p>	<p>●戦争や平和についてのアンケートを取り、戦争や平和について共有する。</p> <p>●戦争をしている国があるという事や実際に日本は戦争を繰り返してないという中から課題を見出す。</p>	<p>○長崎の原爆や日本が戦争をしていたことを知るができる〔知識・技能〕</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 長崎の原爆や大牟田の空襲、世界の戦争の状況を調べよう。 </div>			
4	<p>長崎での原爆の被害や、大牟田での空襲の被害、現在の世界で起きている戦争について知ろう。</p> <p>(1) 長崎の原爆のことについての情報をグループで集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎に落とされた原爆の被害は大きいものだった。 ・長崎の原爆の跡地に長崎平和公園が作られることになった。 <p>(2) GT から大牟田の空襲についての話をきき、大牟田の町でも戦争の被害にあったことをしる。</p> <p>○大牟田でも、空襲があり被害を受けたことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが暮らしている中友校区は焼け野原になってしまった。 <p>(3) 第二次世界大戦後に起きた戦争について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界では、戦争を続けている国がまだたくさんあったことを知る。 ・自分たちと同じくらいの子どもも兵隊として戦争に参加している。 <p>(4) 戦後の日本の取り組みや世界の平和に向けての取り組みについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎では、平和祈念像が作られたり、慰霊碑が作られたりすることで世界の永久平和を願っている。 ・世界では、子ども達にユニセフでの取り組 	<p>●インターネットを活用して調べる。</p> <p>●GT からの話を聞くことで大牟田でも空襲があったことを実感させる。</p> <p>●インターネットを通じて世界の現在の戦争や世界で苦しむ子ども達のことについて調べる。</p> <p>●戦争後の取り組みや苦しんでいる人達を助ける取り組みについて調べ、自分達にできることを考えさせる。</p>	<p>○インターネットを活用して、調べ、ゲストティーチャーの話を聞くことができる。〔主体的に学ぶ態度・人間性〕</p>

	みや、国連平和維持活動(PKO)などが活動に取り組んでいる。		
	長崎・大牟田・世界の戦争のことにについて調べたことをまとめよう。		
7	<p>戦争のことにについて、自分たちが知ったことや、自分たちができることにについて考え、伝えよう。</p> <p>(1) 調べたことや、聞いたことを基に、自分達がかこれからできることにについて、考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界で困っている人がいるから助けたい。 ・戦争の悲惨さ、恐ろしさを伝え、戦争を繰り返さない、しないことを伝えたい。 <p>(2) 調べたことや、学級内で情報共有したときのことを基に、自分達が伝えたい内容について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伝えたい情報の整理と内容について話し合う。 ○なぜ、その情報を伝えたいのか、理由を明確にさせる。 <p>(3) クラスで伝える方法について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伝える相手や目的、場所に応じて、これまで学習してきたポスターや新聞、リーフレットスライドなどの表現方法から適切な物は何かをクラスで話し合わせる。 <p>(4) 伝える内容、伝える方法に基づき、個人で資料を作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●調べた内容をもとに座標図に自分の考えをまとめる。 ●自分達が1番伝えたい内容を考え付箋に書かせる。 ●相手に自分達が伝えたいことを伝えるためには、どのようにすれば良いのか考えさせる。 	<p>○自分たちの生活を見直し、できることを考える〔思考力・判断力・表現力〕</p>
	戦争・平和のことにについてまとめことを他の学年に広げよう。		
5	<p>戦争を繰り返さないための平和への思いや願いを発信していこう。</p> <p>(1) 広げるために、スライドの作成を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分達の伝えたいことをまとめ学習を通して感じたことをまとめる。 <p>(2) 完成したものを他の学年にも見てもらえるように掲示し発信する。</p> <p>(3) 活動の振り返りを行い、学習した内容や行動のよさを実感する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和への願いをつないできた人々の思いに気づくことができた。 ・友達と一緒に、たくさん考えて自分達で取り組むことができたな。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習したことをまとめさせる。 ●自分の生活を見直させ、自分たちにできることを考えさせる。 	<p>○学習したことをまとめたり、発表したりすることができる〔思考力・判断力・表現力〕</p>
	世界の平和への願いと復興を込めてできる活動を続けていこう。		